

特別委員会委員長報告

6月定例会において両特別委員会の今期の取り組みと、まとめが報告されました。

将来像の実現に向けて

定住人口増加促進特別委員会

平成25年

3月15日 議員発議により委員会設置

4月23日 定住促進対策の取り組み状況精査

5月28日 都市計画の見直しについて協議

7月11日 子育て支援策、空き家調査・空き家バンクについて協議

8月16日 高知県宅地建物取引業協会にて本市の住宅事情を研修

8月27日 市長に職員の増員や子育て支援策の充実を申し入れ

12月4日 高知県知事に市街化調整区域の規制緩和を求める意見書を提出

平成26年

1月27日 教育予算や子どもの医療費無料化年齢拡充等について、再度市長に緊急申し入れ

2月7日 高知県より意見書の回答あり

定住促進を総合的かつ計画的に推進することとは、本市の描く将来像の実現に向けて、喫緊の課題である。

今回はテーマを絞った取り組みであり、政策提言に至らなかったことが多い。ただ、緊急申し入れを行った中学生までの医療費無料化では、進捗が見られた。市街化調整区域の問題については、市民から多くの声が寄せられており、今後は県の回答と市民の声とのギャップをどうすれば埋められるのかについて、議会・執行部・関係機関が連携した地道な取り組みが求められる。

以上の点から、9月の改選後も引き続き、定住人口増加策の検討・推進が必要である。



定住人口の増加を目指し(土佐山田町の街並み)

改選後も継続して設置を

行財政改革推進特別委員会

●住宅新築資金など貸付金の滞納整理

あり、早期の具体化を求める。

所管課の事務改善等

により、一定の成果を得た。滞納繰越額を3億円減少させたものの4億円弱残っている。困難債権も償還最終年度を見据えた継続性のある一貫した事務を求め。

●香美市観光協会

平成25年度において、健全経営の方向性が見えてきたが、一層の発展目標をもって自立した組織となるよう求める。

●市営住宅使用料等の滞納整理

滞納繰越のほとんどを法的措置した。回収困難案件についても粘り強い取り組みを求め。

また、議員はさまざまな指摘がある以上、観光協会の役員から早期に引くことが望まれる。

●市職員等の滞納

少人数であるとは言え、看過できない。市民の範となるよう注視が必要である。

●市有財産の管理・活用状況

委員の総意

市街化区域内の土地・建物の活用については評価できる。財産管理台帳整備は、再三の指摘にも関わらず進んでいない点は遺憾である。

当特別委員会は改選後の議会においても継続して設置する必要がある。

議会改革度 ランキング

四国
38市中

4位

四国38市の議会改革度トップテン

順位	自治体名	総合順位		総合得点
		今回	前回	
1	土佐清水市	59	121	45.6
2	小松島市	77	28	44.0
3	坂出市	131	795	39.6
4	香美市	139	524	39.2
5	丸亀市	154	131	37.8
6	善通寺市	226	89	35.0
7	東かがわ市	229	541	34.8
8	西予市	269	254	32.6
9	四万十市	269	243	32.6
10	三豊市	290	393	31.2

6月定例会最終日、議長より、本市議会の議会改革の取り組みが四国で4位にランキングされたと報告があった。

平成26年6月21日付の日本経済新聞の四国版に四国38市議会「改革度」と表して記事が掲載された。

記事によると、調査は全国790市と東京23区の議会を対象とし、

たもので、「公開度」「住民参加度」「運営度」の3つに分け、回答を数値化している。なお、本市議会の総合順位は139位、ちなみに前回は524位だった。

本市議会の2年にわたる議会改革推進特別委員会での議論・先進地視察・議会基本条例や政治倫理条例の制定・議会報告会の開催

など、この間の議会改革の取り組みが、このような形になって評価されたことを素直に喜びたい。

ただし、議会改革は道半ばであり、今後も住民の皆様により近く分かりやすい議会を目指すとともに、政策立案能力の向上を目指して研鑽を積み重ねなければならない。

